

市民講演会

東北大学・ロシア科学アカデミーシベリア支部 学術交流締結15周年記念国際シンポジウム

International Symposium of the 15th Anniversary of the Academic Exchange Agreement
between Tohoku University and Siberian Branch Russian Academy of Sciences

基調講演－1

アルタイ美少年発見：ロシア考古学の第一人者

ヴァチエスラフ I. モロディン先生

ロシア科学アカデミーシベリア支部第一副総裁
講演テーマ：

露独考古学探検の現代的学際的研究（日本語通訳付）



基調講演－2

食品監視の第一人者

ぶす じま こう いち

毒島 幸一先生

厚生労働省仙台検疫所 食品監視課長
講演テーマ：

輸入食品の安全確保を目指して ～検疫所の仕事～
－輸入食品の安全がどうやって守られているか最前線からの報告－



■日時：平成19年8月25日（土曜日）

14：00～15：30

■会場：東北大学金属材料研究所講堂

入 場 無 料

先着120名様にマトリョーシカ

プレゼント



問合先：実行委員長 工藤純一（東北大学東北アジア研究センター教授）

TEL (022) 795-6084 E-mail: kudoh@cneas.tohoku.ac.jp



講演概要

基調講演—1

ヴァチェスラフ I. モロディン 先生 (ロシア科学アカデミーシベリア支部第一副総裁)
 講演テーマ：露独考古学探検の現代的学際的研究 (日本語通訳付)

ロシア科学アカデミーシベリア支部考古学民俗学研究所とドイツ考古学研究所の8年間にわたる共同研究の成果について報告します。

ロシアとドイツの共同プロジェクトは、西シベリア、アルタイ、モンゴルなどを中心に地球物理学や最新のコンピュータ技術など学際的に調査研究が進められ、数々の成果を出しております。特に2006年にモンゴルアルタイの凍土から出土したスキタイ人兵士と見られる入れ墨のある男性の発見は、この時代の研究のみならず、遺伝学、生物学にも貴重な資料となりました。このような発掘調査について講演します。

基調講演—2

毒島幸一 先生 (厚生労働省仙台検疫所 食品監視課長)

講演テーマ：輸入食品の安全確保を目指して～検疫所の仕事～

—輸入食品の安全がどうやって守られているか最前線からの報告—

最近、中国産原料を使用した医薬品や飼料を原因とする人や動物の健康被害の発生とともに、中国から輸出された食品による健康被害事例や多数の輸入差し止め事例が報道されており、国では、関係情報の収集、輸入時検査の強化等の必要な対応をとっているところです。

輸入食品が大きな比重を占めるわが国にあっては、国民の不安解消が緊急の課題となっています。

国民の安全・安心を確実なものとする必要があるとの認識のもと、輸入食品の安全対策について、輸入食品の監視の最前線で働く食品衛生監視員が現況報告します。